

「業況D I サービス業は大きく減少、来期も厳しい見通し」

～「日田商工会議所」市内企業景気動向調査結果～

○調査対象期間：令和8年4月～令和8年6月期

○調査企業：53／110社（回収率 48.2%）

（製造業）7／20，（建設業）8／20，（サービス業）11／20，（卸売業）13／20，（小売業）14／30

○調査項目：売上・採算・業況等についての状況（現状・見通し）および業界として当面する問題

【調査結果の概要】

全業種合計の業況D Iは▲15.1ポイント（前期比 15.1↓）で、減少傾向となった。業種別D Iでは建設業 37.5ポイント（同 25↑）と好転傾向。製造業 14.3ポイント（前期比 5.7↓） 卸売業 ▲38.5ポイント（同 5.2↓）小売業 ▲28.6ポイント（同 0.8↑）と横ばい。サービス業は▲27.3（同 67.3↓）と大幅な減少傾向となった。業況D Iの来期見通しについては、卸売業・小売業は回復傾向、建設業・サービス業は悪化傾向、製造業は横ばい傾向の見通しとなった。今期の売上D Iについては、全業種合計で▲21ポイント↓と減少傾向、今期の採算D Iについても、全業種合計で▲6.9ポイント↓と減少傾向を示した。

製造業

業況	売上	採算
↓	↓	↓

建設業

業況	売上	採算
↑	↑	↑

小売業

業況	売上	採算
→	↓	↓

サービス業

業況	売上	採算
↓	↓	↓

卸売業

業況	売上	採算
↓	→	→

※D I 値（好転・増加－悪化・減少）の傾向(前期比との比較)
↑改善傾向 →横ばい ↓悪化傾向

・前期はトランプ関税の影響で売り上げが伸び悩んだが、今期は回復傾向にある。課題は依然として価格転嫁で、コツコツやり続けるしかない。業界や政府からの後押しも欲しい。（製造業）

・ひたP a y利用により夏用制服代金等を先払いされる方が多く、4月以降の売上が3月に前倒しになっていて、4～6月期の売り上げは減少しました。（小売業）

・気温が上がると需要が季節商品へ移行し、当店の主力商品の売り上げが減少。地元客が中心の為、価格転嫁もしづらく、収益確保に苦慮している（小売業）

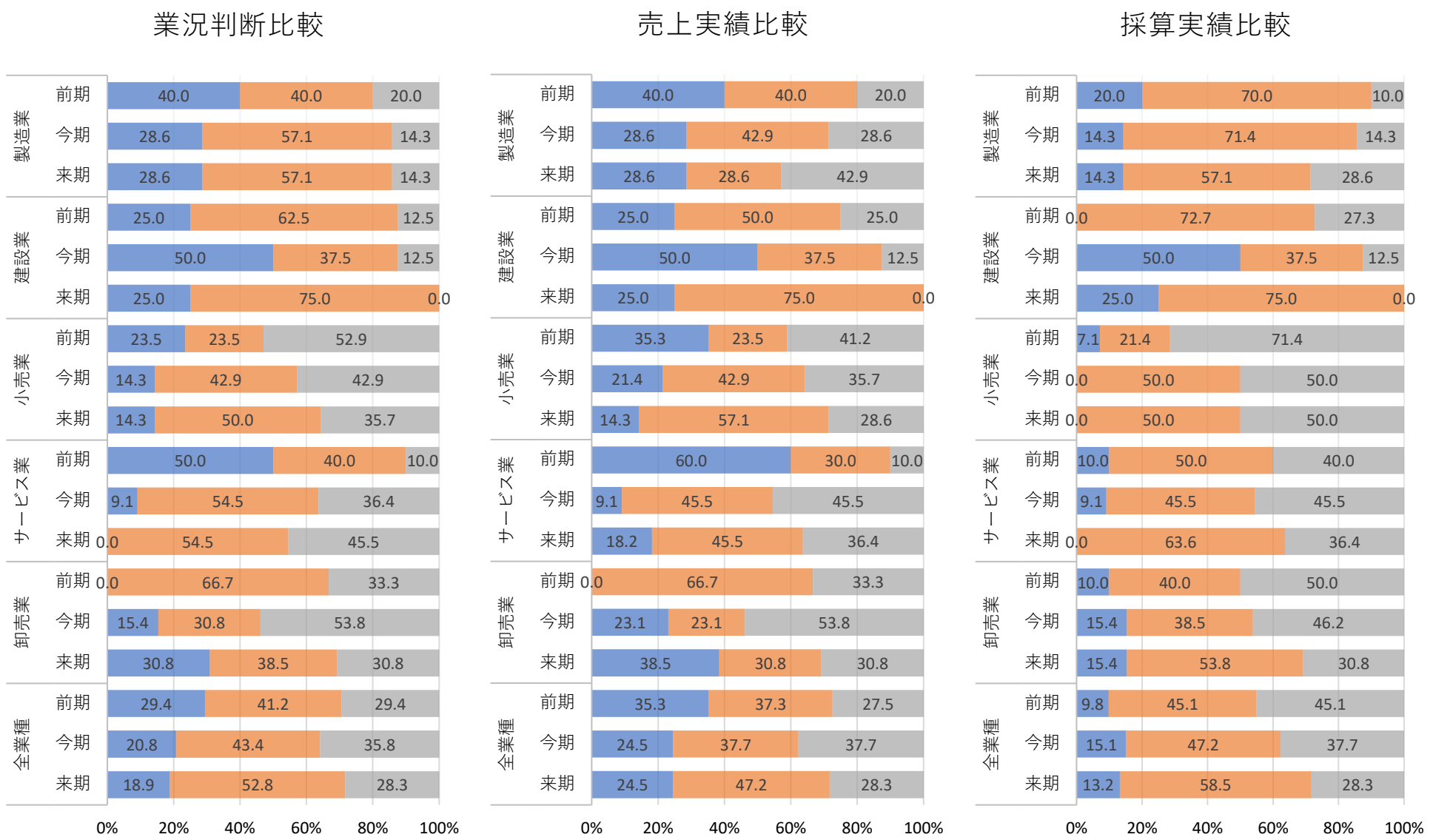
・イラン情勢不安により原材料、重油、包装資材などが高騰し採算が悪化した。来期は上記理由のほか 異常に気温が高く観光客の減少が心配される（小売業）

・包装資材の値上げと不足、原材料も値上げが続いている。後継者不足等による同業者の廃業が昨年より3件と地域の業界環境は依然厳しい状態。（小売業）

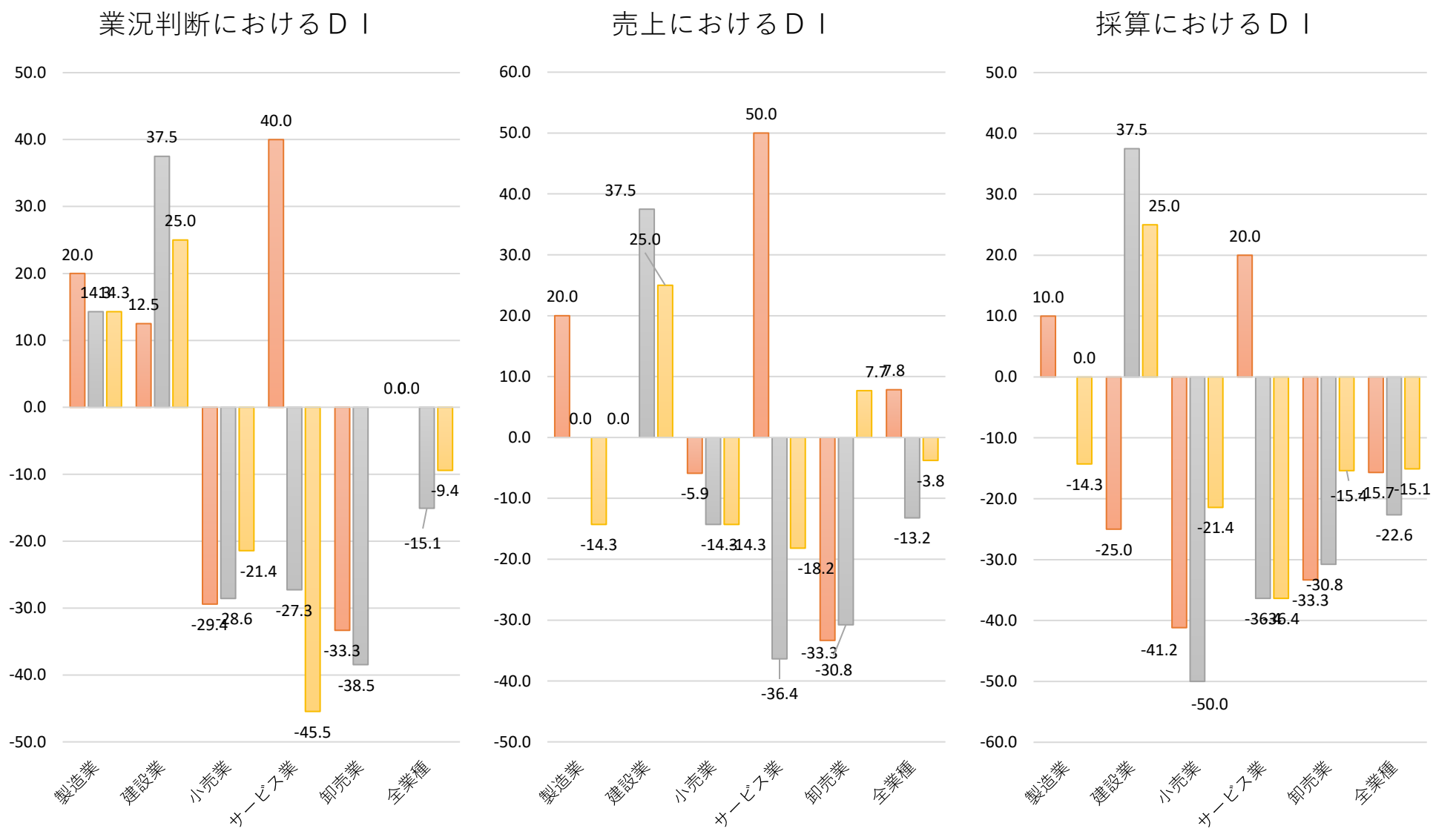
（※ 裏面に続きます）

- ・インバウンドの増加により売上が増加した（卸売業）
- ・商品の入荷不足による業況の悪化あり（卸売業）
- ・売上は増加しているが、利益はあまり増えていない。新規取引先が増えたが売掛金が増加することで資金繰りが厳しくなっている。（卸売業）
- ・円安・資材高騰による影響もあり。ナフサ不足により物が入ってこず、また物がないので現場が動かず、現場が動かないので物が売れないという悪循環となっている。（卸売業）

令和8年度4～6月 景況調査



左から 好転、不変、悪化

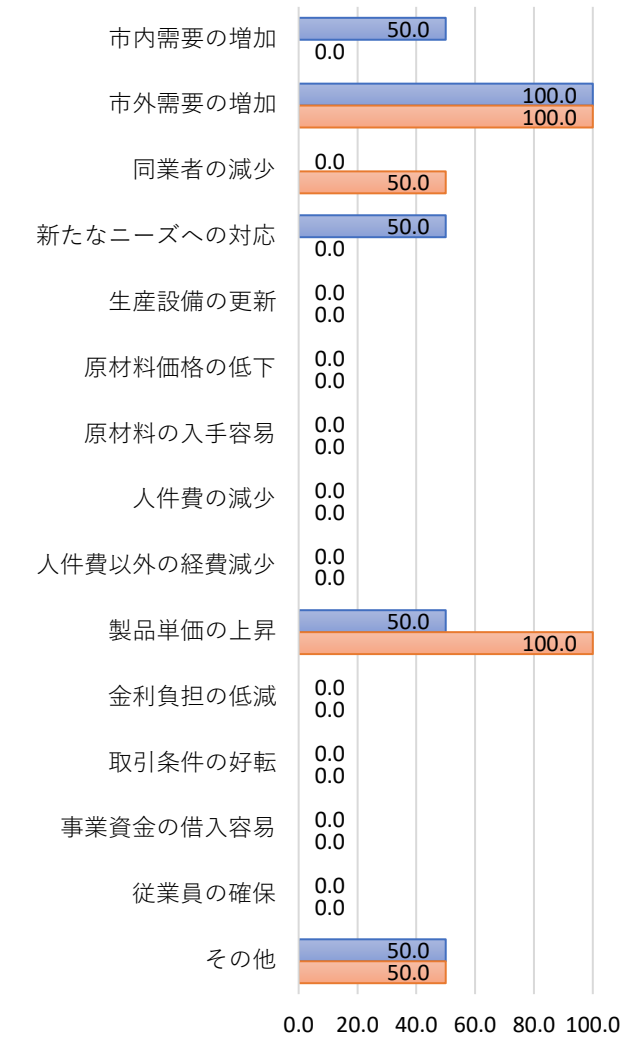


左から 前期、今期、来期

※D I = 「好転」「増加」企業 − 「悪化」「減少」企業割合

令和8年度4～6月 景況調査

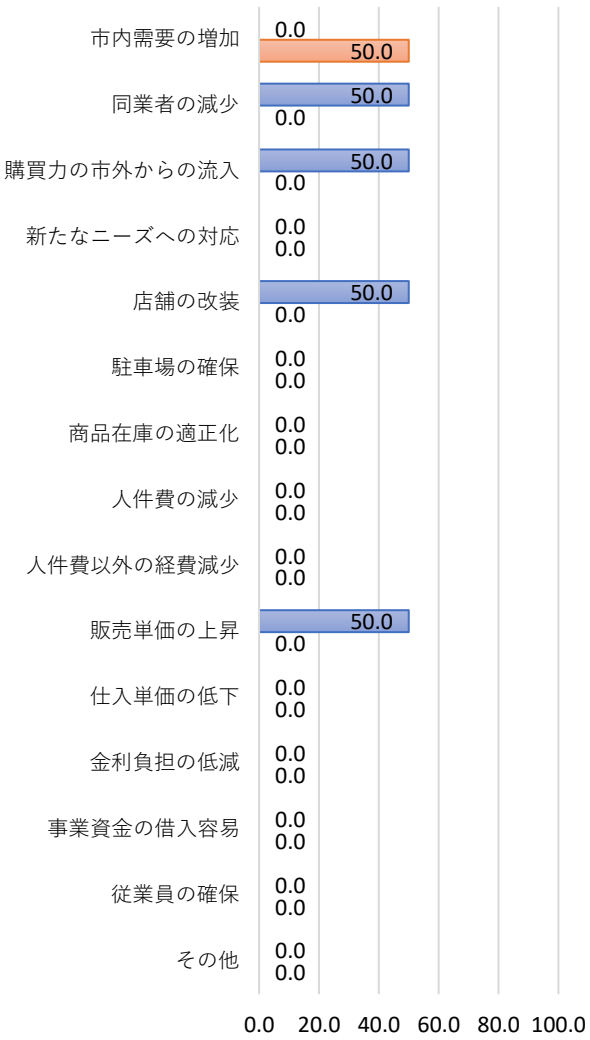
業況の好転要因【製造業】



業況の好転要因【建設業】

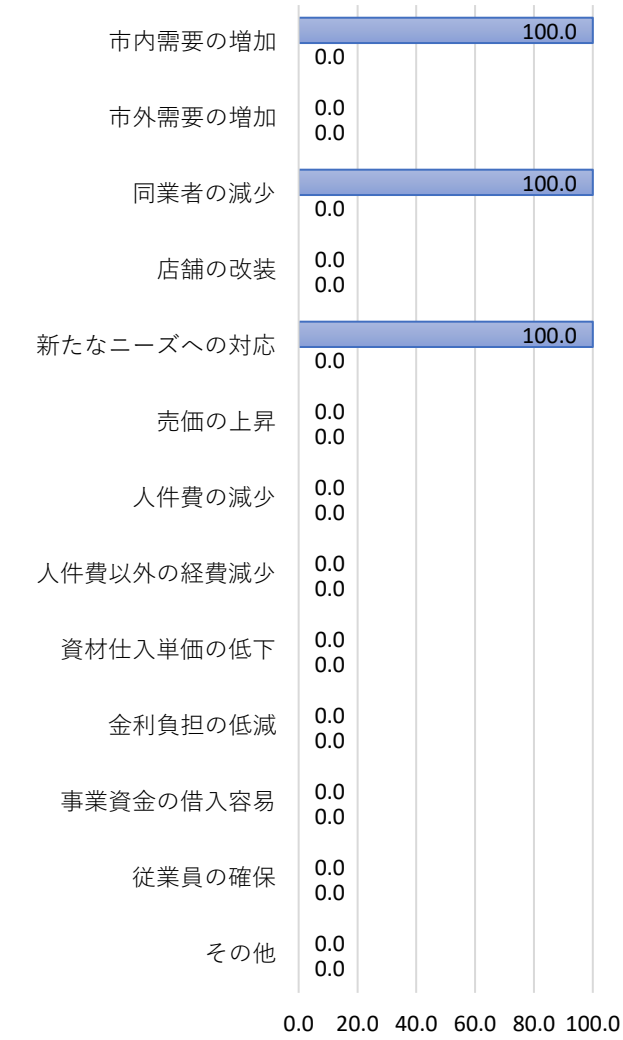


業況の好転要因【小売業】

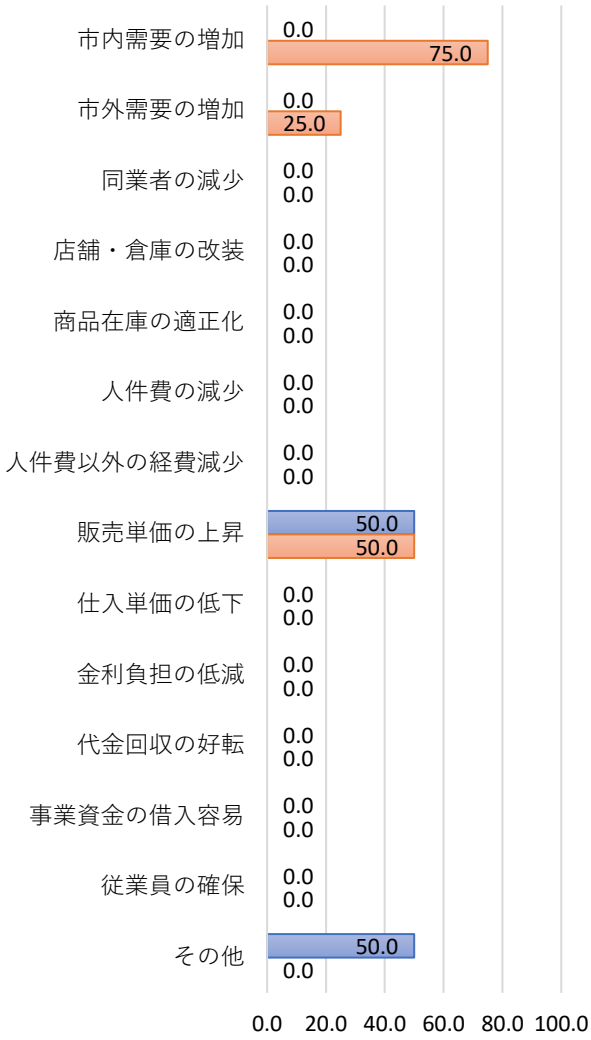


上段：今期、下段：来期

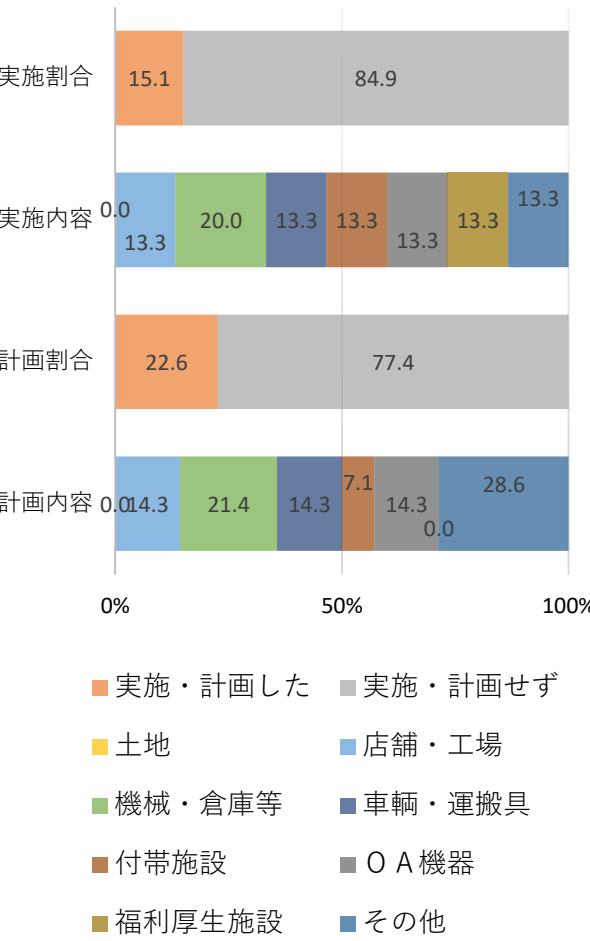
業況の好転要因【サービス業】



業況の好転要因【卸売業】

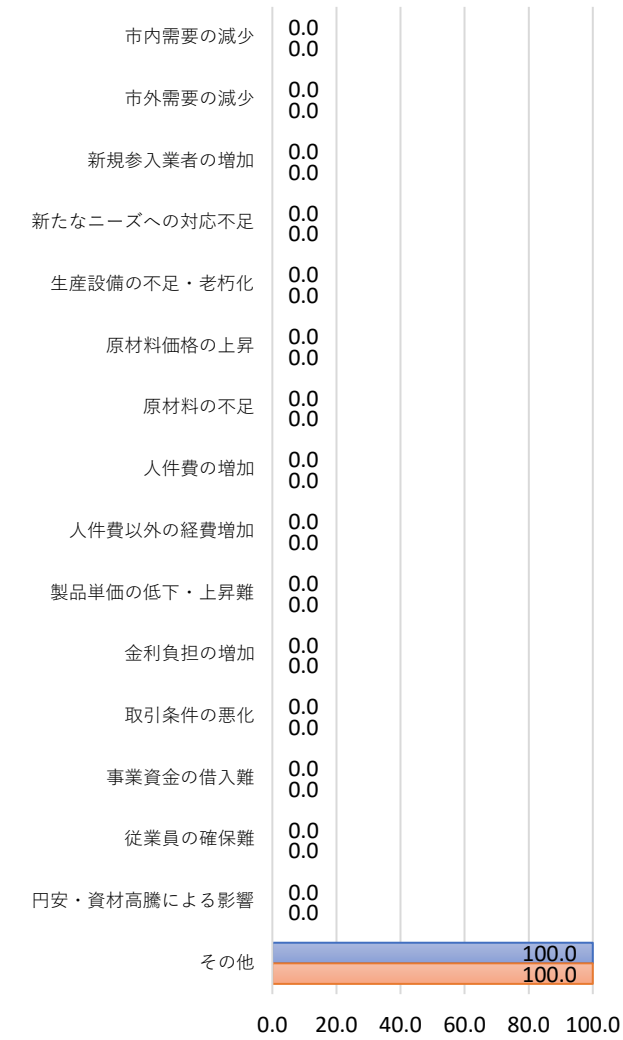


設備投資実施・計画割合
(内容別)

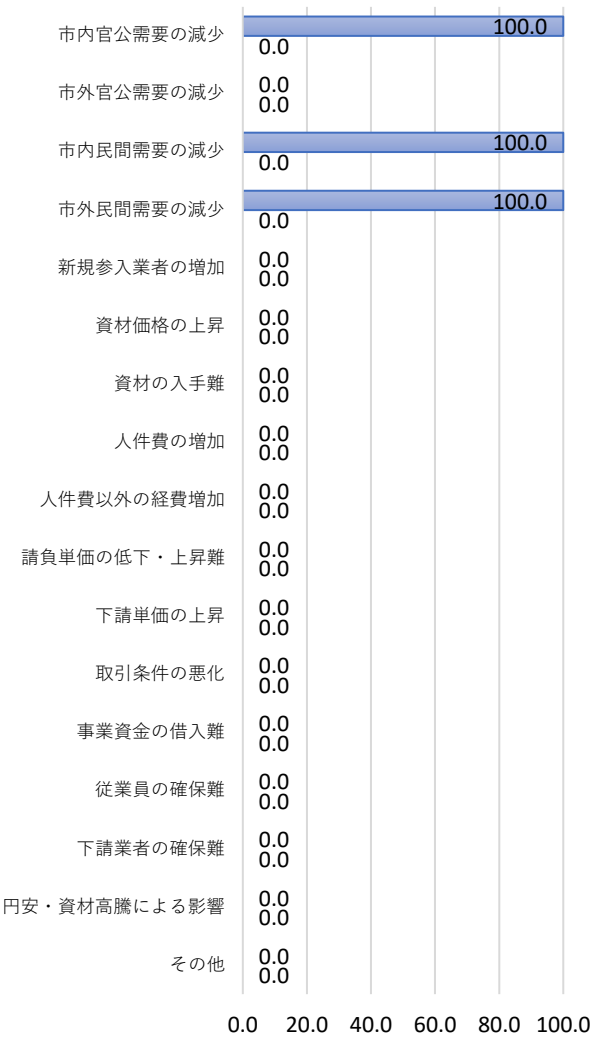


令和8年度4～6月 景況調査

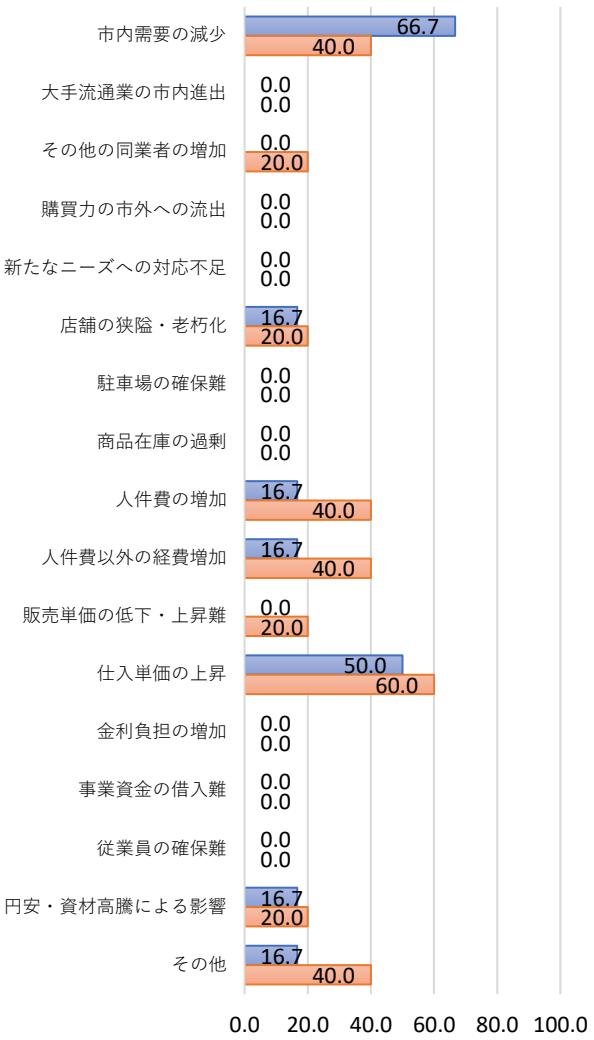
業況の悪化要因【製造業】



業況の悪化要因【建設業】

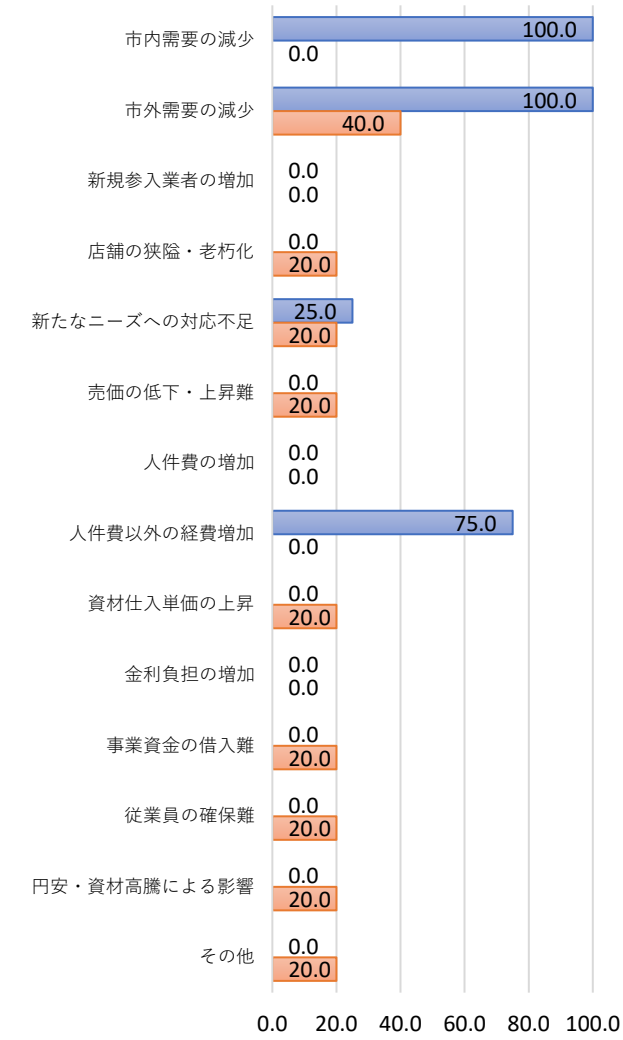


業況の悪化要因【小売業】

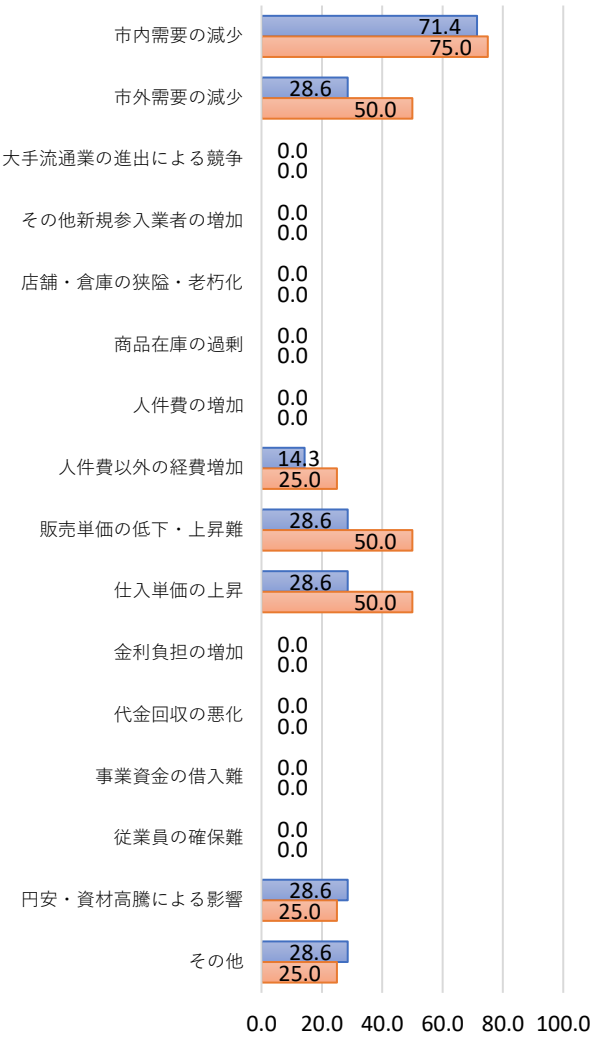


上段：今期、下段：来期

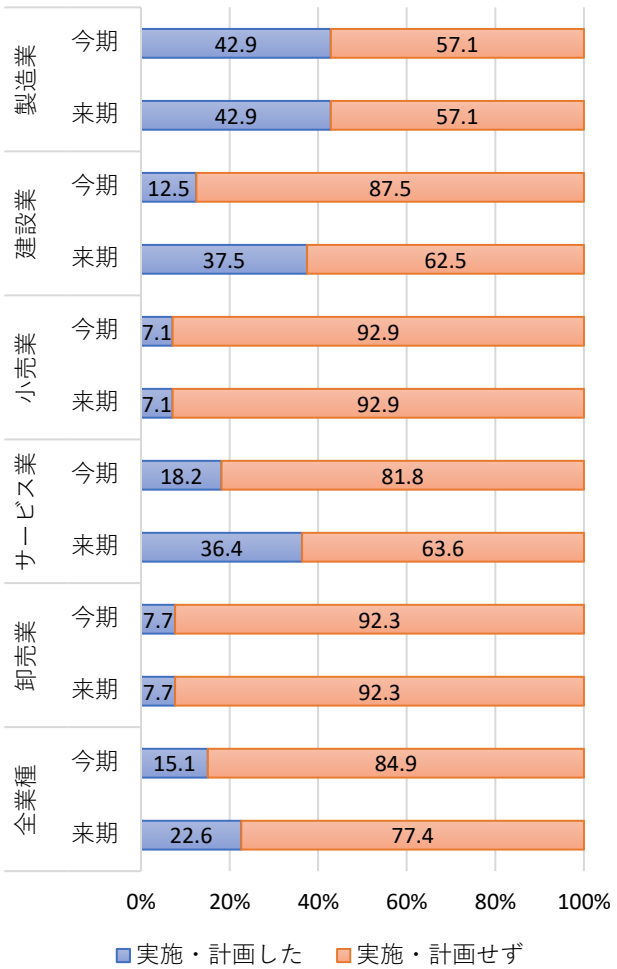
業況の悪化要因【サービス業】



業況の悪化要因【卸売業】



設備投資実施・計画割合
(業種別)



■実施・計画した ■実施・計画せず